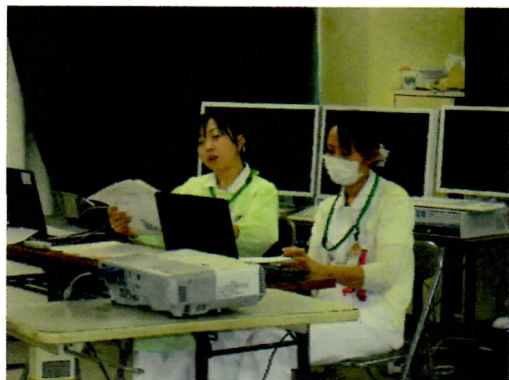


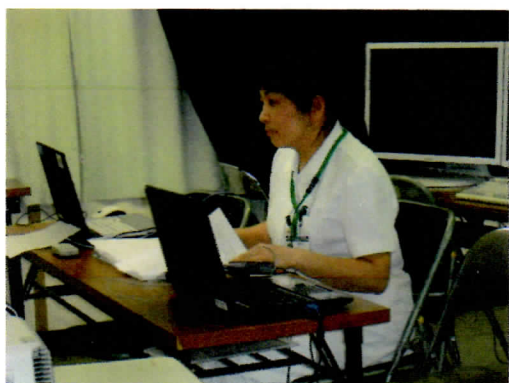
看護ゼミにゅーす 第6号

2012年12月21日 看護ゼミ報告 (12/27発行)



「麻酔科 ボトックス外来 新たな治療への期待を背負った 1例目の報告」 付属診 渡邊さん

メディアで上下肢の痙縮の新たな治療法として紹介され、患者さんご家族の要望から、9月にボトックス外来がオープンしました。ボトックス注射は麻痺そのものを治療するものではありませんが、リハビリとの併用によりADL向上、介護負担の軽減が期待できるということを学びました。また短期間でオープンできた背景に付属診のチームの力を感しました。



「子宮頸癌検診に関するアンケート活動を通して見えてきた当院の役割」

産婦人科 松永さん

20～30代女性のがんの罹患率第1位の子宮頸癌。検診とワクチン接種を合わせることで100%予防できるといわれています。“子宮癌検診を受けているか”“受けたきっかけ”などについて150名にアンケートを取りました。その結果の報告と“子宮をなくすことがないように”を目的とした産婦人科ならではの活動報告です。



みんなで癒された

赤ちゃんの沐浴シーン

「電子カルテシステム導入について フレゼン」 富士通エフサスの長友さん、ほか

いよいよ7月から電子カルテに移行します。

安心・安全の看護めざして、看護部全体で取り組みましょう！



参加者は約70名 今まで知らなかったことが学べる看護ゼミです。今回もボトックスのことや産科で行われている啓蒙活動など知ることができました。**次回の看護ゼミは、1月18日(金)17時～18時です。事例発表は健康管理室と5西病棟の予定、看護師の研修報告もあります。皆さんの参加、お待ちしております！**